



報道関係 各位

平成30年6月27日発表

【照会先】

長崎労働局 雇用環境・均等室

監理官 中村 浩樹

室長補佐 松尾喜久光

電話：095 (801) 0050 (直通)

長崎労働局長による次回の定例記者会見について

下記のとおり開催いたしますので、説明予定の概要も含めお知らせいたします。

記

- 1 開催日時 平成30年6月28日(木) 15:00～
- 2 開催場所 長崎労働局 4階 会議室
長崎市万才町7番1号 住友生命長崎ビル
- 3 会見内容 (予定)

【(3)及び(4)については、平成30年6月29日(金)午前8時30分解禁】

(1)平成29年度の個別労働紛争解決制度(相談、助言・指導、あっせん)の状況について

昨年度の民事上の個別労働紛争(職場のトラブル)の解決制度(労働局が設置した総合労働相談コーナーに寄せられた相談、労働局長による助言・指導、紛争調整委員会によるあっせん)の状況について説明します。特に、相談内容について、28年度に最多であった「いじめ・嫌がらせ」と25～27年度に最多であった「自己都合退職」(退職を申し出ても辞めさせてくれない等)のどちらが多かったか等に重点を置いて説明します。

(2)県内高校3年生の就職希望動向について

長崎労働局では、県内の全高校3年生を対象に、毎年、5月15日現在の就職希望

の動向に関する調査（就職希望か進学希望か、就職希望の場合は民間希望か公務員希望か、民間希望の場合は県内と県外のどちらで就職希望か等に関する調査）を行っていますが、今年の調査結果を公表します。民間希望者の中での県内希望の割合が過去最高だった昨年（48.5%）を上回っているかどうか、県外希望者はどの県を希望しているのか等を中心に説明します。

（3）長崎県の雇用失業情勢（平成30年5月分）について

4月の有効求人倍率は1.19倍でしたが、先月の記者会見で、「5月の有効求人倍率は、4月とほぼ同じかやや上昇する可能性が高いのではないかと」申し上げました。5月の有効求人倍率が再び1.2倍台に戻っているかどうか、のほか、安定所管轄地区別の有効求人倍率、産業別の求人の状況、6月の有効求人倍率の見込みなどについて説明します。

（4）ハローワークの職業紹介関係業務の主な状況（主として平成30年5月分）について

主に5月までのハローワークの業務実績について説明します。

（5）長崎労働局長、長崎労働基準監督署長、九州新幹線建設局による合同安全パトロールの実施について ～九州新幹線（西九州）経ヶ岳トンネル～

県内の労働災害が減少傾向にないこと、なかでも建設業については、昨年に災害が増加しているだけでなく、死亡災害も多く、例えば今年の死亡者2名はいずれも建設業であること、うち1名はトンネル工事での災害によること等から、全国安全週間中の7月2日、長崎労働局長と長崎労働基準監督署長が、長崎新幹線のトンネル工事の現場に、発注者である鉄道・運輸機構九州新幹線建設局とともに合同パトロールを実施する予定であり、その内容について説明します。（6月25日に資料を公表しておりますが、改めて説明します。）

（6）「長崎県最低賃金」の改正に向けてスタート ～7月6日、審議会に諮問～

7月6日開催予定の審議会において長崎県最低賃金の今年度の改正について諮問予定である旨を説明します。